

「広報川越」が皆さんに届くまで

「広報川越」が皆さんに届くまで

広報川越一〇〇〇号（平成十三年二月十日発行）からこれまでの間に広報川越に登場したキャラクターたちが集まって、一〇〇〇号を見ながら何やら話をしています。

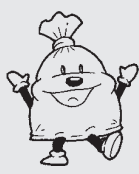
「広報川越が今回、一〇〇〇号を迎えたそうだよ」
「そうなんだ、早いものだね。でも、毎月二回届いている広報って、どうやって作られているんだろう？」

「そういえば、広報に出たことはあるけれど、全然知らないね」
「そうだ、広報が出来るまでを知りたいねえ」
毎月二回、市民の皆さんにお届けしている広報川越が、このたび一〇〇号を迎えました。この広報がどのように作られているか、市民の皆さんはご存じですか。このコーナーでは、今まで登場したキャラクターたちが、皆さんに広報川越が届くまでを調べてくれました。

わたしたちが調べてきたよ！



りちゃん
一〇五二号から一〇七四号まで、環境コラム「ごみの分別大辞典」に登場



ごみ太
一〇二八号から一〇五〇号まで、環境コラム「ごみ太の減量日記」に登場



ピンチとパンチ
一〇〇四号から一〇二六号まで、環境コラム「ごみ処理がピンチ」に登場

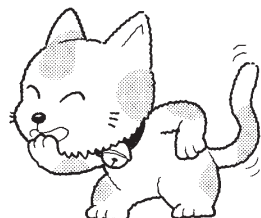


フランクリン
初登場は九一四号。一〇〇〇号以降も環境コラム「省エネの鉄人」に登場

①原稿受領と編集会議

市役所各課や出先機関へ原稿提出を依頼し、記事の掲載希望があると原稿が提出されます。
ひとまち伝言板を含め、原稿は毎月二十五日が締め切りです。
そして、編集会議が行われ、集まった原稿を広報担当職員が確認し、コラム記事のテーマを考えるなどして、掲載する内容を決めていきます。

その後、ページ数を決め、ページごとに担当者を割り振ります。



次の広報はどんな内容かな？

②編集

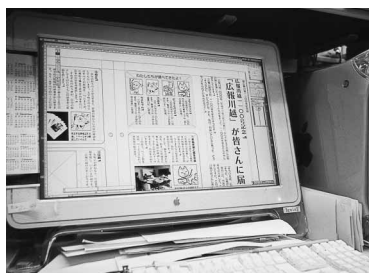
編集会議で割り振られたページの編集を、担当者が文字校正の日までに行います。

広報川越は、パソコンの編集用ソフトを使って作られています。レイアウトや文章、ことばの表記など、市民の皆さんが読みやすい紙面にするため、頭を悩ませています。

表紙・企画記事・まちの話題など、取材や写真撮影が必要なページの担当者は、市民の皆さんの所にお邪魔します。



パソコン画面の中に広報の紙面があるよ



毎月、広報川越の表紙はどのようにして決めてるの？

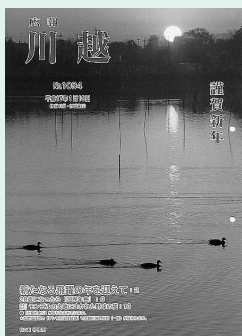
市民の皆さんが最初に目にする表紙に、関心を持っている方が多く、よく問い合わせがあります。毎月十日発行の表紙は、全面カラー写真、毎月二十五日発行のものが白黒写真のわくわく散歩道シリーズになっています。

十日発行の広報は、季節感のある草花・樹木・風景・催しや新たに出来た施設などを題材にしています。例えば、毎年十月十日発行の広報は、川越まつりをお知らせするため、前年の川越まつりの写真を表紙に使うことが多くなっています。また、ことし一月十日発行の広報は、新年らしく伊佐沼から日の出を撮りました。

二十五日発行のわくわく散歩道シリーズは、担当者が市内を歩いて題材を探していきます。市内のいろいろな魅力をお伝えできるように努めています。



昨年10月10日発行の広報の表紙（左）と、ことし1月10日発行の広報の表紙（右）



③校正

担当したページが出来ると、原稿の提出元に内容を確認してもらいます。文字校正の日には原稿を一つにまとめ、職員が読み合わせを行い、内容を再確認します。

それぞれの担当者が、自分の担当ページを校正して、その日のうちに印刷屋さんに原稿を渡します。

このあと、実際の広報川越と同じ色で印刷された原稿が、印刷屋さんから届きます。もう一度すべてに目を通し、色の仕上がりや校正したとおりになっているか確認します。

広報川越の完成に向けて最後の山場が、この色校正と呼ばれる作業になります。



校正する原稿はB4版。1ページずつ確認していくんだ

④印刷

色校正が終わると、印刷屋さんへ原稿を渡し、いよいよ印刷です。広報川越の出来上がりです。



機械からどんどん出てくるよ

⑤市民の皆さんのお手もとに

完成した広報川越は、市内各地区の配布協力員の所に配達され、配布協力員の手によって各家庭にお配りしています。

なお、広報川越は、市の公共施設や市内の一部の駅にも置いてあります。



新しい広報が届いたよ！ どうもありがとう

「こうやって、広報川越は作られているんだね」「いろいろな作業があるのがわかったね」「そういえば、この四年で、文字を大きくしたり、色覚に配慮したりして少しずつ変わってきている、って広報担当の人が言っていたよ」「この四月十日発行の広報から市のホームページで見られるよね。こんど、一二〇〇号の時はどうなっているのかな」「そうだね、楽しみだね」時代の流れで広報が変わっても、市民の皆さんに親しまれ、正確で、わかりやすい広報を作っていくこととする思いは変わることがありません。これからも、広報川越をよろしく願います。